

**耐震診断ローラー作戦** 平成24年11月11日(日) 参加者：21名  
 町内の71のお宅を訪問し、耐震診断の受診の案内を行いました。その結果、当日中に3件の申込がありました。

<耐震診断ローラー作戦の結果>

結果					合計
申込あり	説明を実施	留守	拒否	対象外	
3	26	31	1	11	71

<耐震診断ローラー作戦参加者の感想>

- ・留守が多く、在宅の箇所は関心が低そうだった。
- ・今後も地震が来たときのために、皆とやっていきたい。
- ・訪問先では皆さんが話を聞いてくれた。
- ・道路が狭く建て替えが難しそうなお家もあった。
- ・年配の人は関心が無さそうだったが、少しでも話を聞いてもらえてよかった。
- ・昔からの道路が狭いまちで、空き家が目立った。

耐震診断ローラー作戦とは：

昭和56年以前の本造住宅は、旧耐震基準で建築されており、地震により倒壊する可能性が高いとされています。そこで、知立市では「無料耐震診断」を実施し、危険性が高いと判断された建物を対象に、「耐震改修補助・解体補助・耐震シェルター等設置補助」を実施しています。

「耐震診断ローラー作戦」では、町内の旧耐震基準で建築されていると思われる本造住宅を訪問し、「無料耐震診断」を受診するよう呼びかけをおこないました。



無料耐震診断・耐震改修補助・解体補助・耐震シェルター等設置補助に関するご相談は、  
 知立市役所 建設部建築課  
 (電話 0566-83-1111 内線 456、457)へ



**第3回** 平成24年12月8日(土) 参加者：25名  
 テーマ：「地震に強いまち」にするために何をすべきかを考える  
 第2回の結果を踏まえながら、新地町にふさわしい「地震に強いまち」に向けた方策・取組は何かを話し合いました。(1頁参照。)

平成25年3月

発行 知立市役所 建設部建築課 Tel：0566-83-1111 (内線 456・457)  
 協力 新地町町内会

# 新地町 地震に強いまちづくり勉強会 ニュース

新地町町内会では、昨年の8月から知立市と協力して「新地町地震に強いまちづくり勉強会」を開催してきました。勉強会では特に、住宅の耐震化がどうしたら進むのかを中心に話し合いを進めてきました。この勉強会を通じて、今後新地町で取り組むべきことがまとまりましたのでお知らせします。

## 新地町において「地震に強いまちづくり」に向けて必要なこと

### 1. 家庭での取り組み

#### ① 家の中の安全確保

- ・家具の固定、落下物対策、ガラス飛散防止、不要物の撤去

#### ③ 備蓄

- ・家族の食料・水の備蓄、貴重品や薬などの持ち出しの準備、職場などの外出先でも備蓄品の用意

#### ② 避難路・避難場所の確認

- ・家族で避難場所を確認、家族で非常時の役割分担を確認

#### ④ 耐震化

- ・建物の耐震改修、ブロック塀の強化

### 2. 地域での取り組み

#### ① 高齢者の避難

- ・手助けが必要な人の名簿の整理、周辺の家庭との助け合い

#### ③ 防災組織の強化

- ・長期的には、町内防災組織の強化

#### ② 地域の連携

- ・町内会への加入促進、コミュニティの活性化、連絡先の交換、避難場所の話し合い
- ・安否確認の協力、手助けが必要な人の名簿の整理、商店への協力依頼

「地震に強いまちづくり勉強会」では、新地町において、これらの取り組みが必要であるとの意見がありました。

日頃からご家庭での地震への備えを強化するとともに、  
 町内会の取組にご協力をお願いします!

## 「新地町地震に強いまちづくり勉強会」の活動経緯



**第1回** 平成24年8月25日(土) 参加者：30名

テーマ：勉強会について

地震に対する備えに関するビデオ（「あっ！どうする？ そうなる前の防災対策」愛知県）を上映した後、勉強会を開催する趣旨や目的、新地町の状況、勉強会のスケジュールの説明を行いました。



**第2回** 平成24年10月14日(日) 参加者：23名

テーマ：まちの状況を確認し、地震防災上の問題点をまとめる  
3つの班に分かれて町内を歩き、新地町の地震防災上の問題点を話し合いました。

東海地震や東南海地震は、いつ発生してもおかしくない状況

地震への備えとして、まずは住宅・建築物の耐震化が必要

新地町内の木造住宅数	うち、旧耐震の木造住宅数
902件	431件

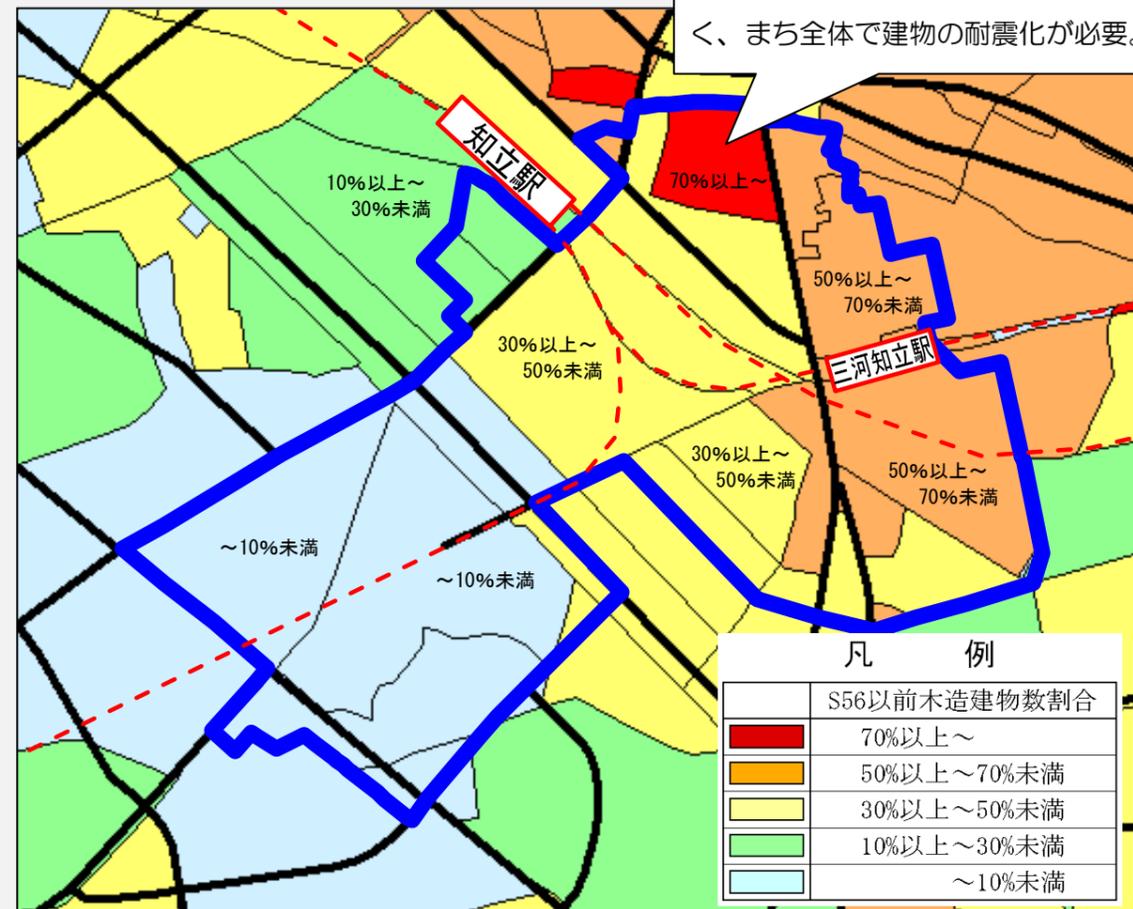
※知立市課税台帳データを基に算定

震度6強で

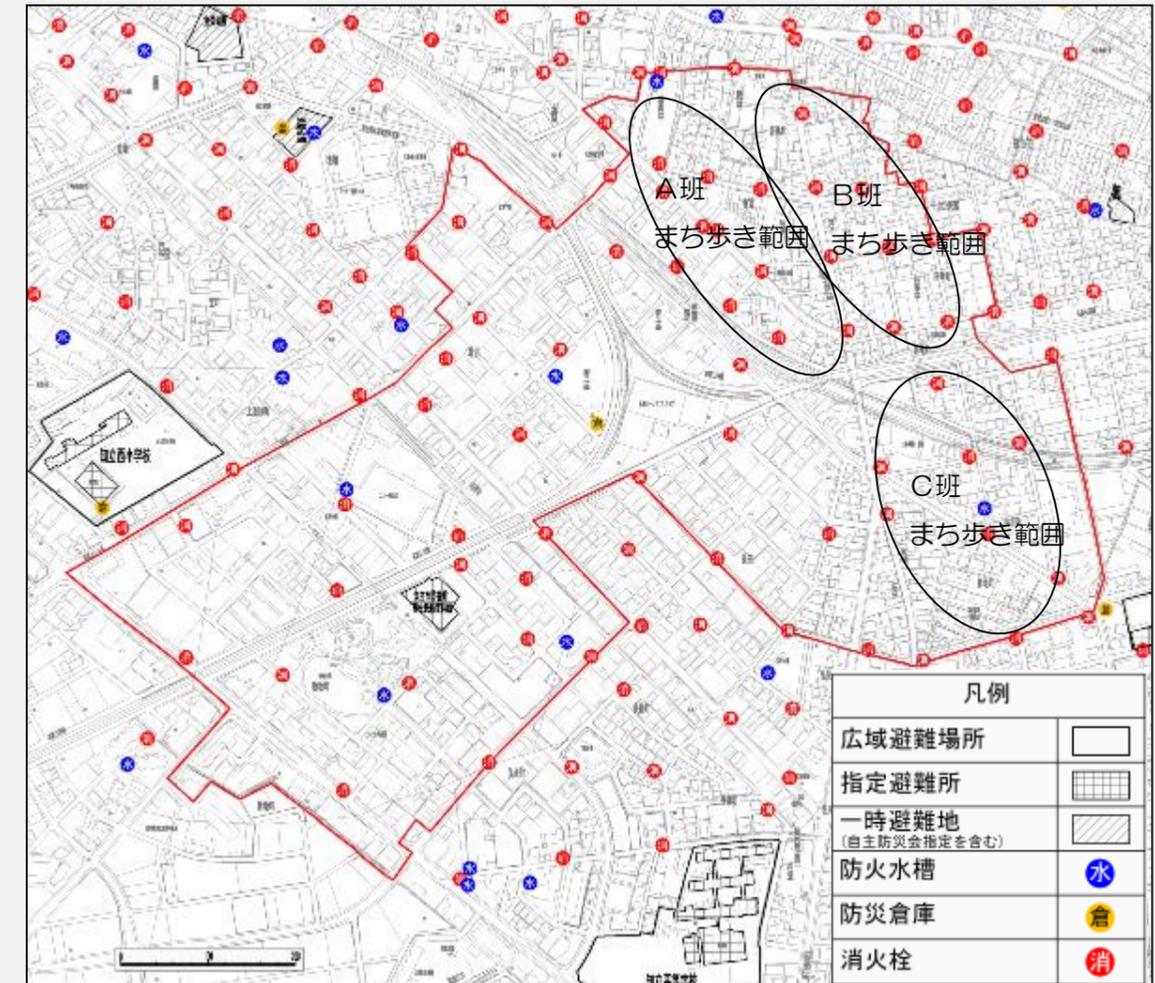
昭和36以前の木造住宅の80%が全壊  
昭和56以前の木造住宅の60%が全壊

出典：「地震防災マップ作成のすすめ(H17.3内閣府)」

＜新地町内の古い木造住宅（S56以前）の割合＞



＜第2回勉強会でまち歩きを実施した範囲＞



＜まち歩きの結果、参加者から出された意見＞

<b>建物</b> ・古い建物の倒壊が心配 ・空き家への対応が必要	<b>塀</b> ・ブロック塀が倒壊すると道路がふさがれる	<b>線路</b> ・踏み切りで立ち往生したら、幹線道路を遮断してしまう ・名鉄電車の石垣や土盛りが崩壊しないか心配
<b>落下物</b> ・看板や建物のガラス、エアコンの室外機などの落下が心配	<b>道路</b> ・狭い道路は、避難経路の確保が心配	<b>その他</b> ・高齢者等の近隣での助け合いを考える必要がある